

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月7日

【評価実施概要】

事業所番号	3870400417		
法人名	医療法人 青峰会		
事業所名	アクティブライフ松柏		
所在地	八幡浜市松柏甲728-1 (電話) 0894-22-2330		
管理者	石田 浩之		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年11月13日	評価確定日	平成21年1月7日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、利用者から、お若い頃の暮らしぶりやしきたり、戦争の経験談等を教えていただいたり、漬け物や郷土料理の作り方等を教えていただくこともある。
 食事のメニューを書いてくださる方や、食事の際「いただきます」と代表で挨拶をしてくださる方もいる。又、水彩画、写経、読書、ジグソーパズル、将棋等それぞれに楽しい時間を過ごせるよう支援されている。時には、ペランダで食事されたり、外食やドライブに出かけることもある。事業所の敬老会や行事時に、日本舞踊を披露される方もいる。毎週パン屋さんが来てくれるようになっており、好きなパンを選んで朝食やおやつに食べておられる。
 地域の自主防災訓練にも利用者と共に参加し、習った救助方法を取り入れて事業所でも訓練を行われた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、地域とのおつきあいを深められた。地域の避難訓練に利用者職員で参加されたり、事業所の夕涼み会時には、地域の多くの人達の参加をいただいた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・ガイド集を活用され、すべての職員で自己評価に取り組みされた。職員は、日々のケアを振り返り、「利用者個々に合った支援が実践できるよう努力したい」と話しておられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・運営推進会議を「ちょっと寄って話さん会」と名付け、気軽に参加いただき、意見をいただける会にしたいと考えておられる。会議の内容や情報は、すべての職員に伝達し、ケアサービスの向上に活かせるよう取り組まれている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・事業所新聞では、利用者の暮らしぶりや行事等が報告されている。ご家族の来訪時には、ご本人の暮らしぶりや健康状態等についても報告をされている。家族会を、敬老会やクリスマス会等、行事の後に開催されている。現在は、ほとんど意見は出ないようである。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・事業所の夕涼み会には、中学校の椅子を貸していただき、多くの地域の方々に参加していただいた。散歩の際、お花をいただき、お礼に利用者がその花を写生して、感謝の気持ちを伝えられた事もある。

【情報提供票より】

(平成20年10月31日事業所記入)

(1)組織概要					
開設年月日	平成17年3月15日				
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人		
職員数	16人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16.0人		
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)					
家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷金	有(円) (無)				
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無		
食材料費	朝食	300円	昼食	300円	
	夕食	400円	おやつ	円	
	または1日当たり		1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年10月31日現在)					
利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	5名	要介護2	3名		
要介護3	7名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.6歳	最低	78歳	最高	100歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算					
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護				
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護				
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護				
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ松柏

(ユニット名) きんかん

記入者(管理者)
氏名 石田浩之

評価完了日 平成 20年 10月 31日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>開設当初より「1.地域の中で、その人らしく暮らしながら人間の尊厳を大切に生きて行く 2.家庭的な雰囲気の中で、「ゆっくり、楽しく、いつも一緒に」をモットーとして自立支援を行う」を理念に支援を行っている。スタッフ全員で理念に沿った環境作りに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所が地域に根ざし、利用者が地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう理念が作られている。</p>		理念に近づくよう地域との関係は更に拡大していきたい。具体的には家庭のような近所づきあいを行う。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、廊下、管理室、リビングに理念を掲示し、いつでも確認できるようにしている。日々スタッフでの話し合いを大切に実践に向け取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者と職員は、掲示されている理念を見ながら、日々理念を実践できているかということを確認されている。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、ホーム内に掲示し、家族や地域の方にも目に留まるようにしている。また、交流の機会を大切にしたい理念が伝わるよう実践にうつしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝の挨拶、散歩や買い物へ出掛けた時はちょっとした会話を心掛けている。		外でお弁当を食べたり、行事への参加呼びかけを行ったり、地域との関わりのきっかけ作りを続けていく。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会や音楽会の学校行事、公民館の催しへの参加、祭りへの参加、ホームでの夕涼み会と交流を持っている。ホームでの夕涼み会には地域の方に沢山集まっていたことができた。 (外部評価) 事業所の夕涼み会には、中学校の椅子を貸していただき、多くの地域の方々に参加していただいた。散歩の際、お花をいただき、お礼に利用者がその花を写生して、感謝の気持ちを伝えられた事もある。		地域との良好な関係を継続できるよう来年も地域参加のホーム行事をもつ。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 中学生の体験学習を受け入れ、レクリエーションや対応など学んでもらっているが、直接、地域の高齢者への支援につながる具体的な取り組みは行えていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員で自己評価に取り組み結果をふまえ、改善計画を話し合い改善に努めている。前回の改善計画は廊下に貼り、日々確認しあっている。 (外部評価) ガイド集を活用され、すべての職員で自己評価に取り組みされた。職員は、日々のケアを振り返り、「利用者個々に合った支援が実践できるよう努力したい」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、地域とのつきあいを深められた。地域の避難訓練に利用者職員で参加されたり、事業所の夕涼み会時には、地域の多くの人達の参加をいただいた。		具体的な改善計画をつくりサービス向上につなげる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>2ヶ月に1度運営推進会議を行っており、参加メンバーと意見交換、情報交換し、サービス向上につながるようスタッフ会で話し合いをしている。</p>		<p>参加スタッフも限られて内容が十分に共有できていないので、スタッフ会で参加スタッフ以外にも報告を行う。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(外部評価)		
			<p>運営推進会議を「ちょっと寄って話さん会」と名付け、気軽に参加いただき、意見をいただける会にしたいと考えておられる。会議の内容や情報は、すべての職員に伝達し、ケアサービスの向上に活かせるよう取り組まれている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>パンフレットを見たり、研修で学ぶことはあっても制度について熟知しているスタッフはいない。</p>		<p>今後必要な利用者がいれば、より深く勉強する機会をもつ。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>勉強会や研修を通し学んでいる。 スタッフ会でも話し合いをもち、虐待防止に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約には管理者が十分時間をとり、重要事項説明書に沿って丁寧に説明している。疑問や不明な点にもしっかり回答するようにしている。		スタッフが契約内容について十分把握できていないため、共有するようスタッフ会で確認しあう。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) スタッフが気づいて話し合いを持つことがあったり、月に1回のさわやか相談員の訪問で聞き取りしてもらうこともある。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 2ヶ月に1度ホーム新聞を発行している。面会時には様子を伝え、変化があれば電話や手紙で連絡している。		新聞の発行、アルバム作り、作品作りを継続していく。
			(外部評価) 事業所新聞では、利用者の暮らしぶりや行事等が報告されている。ご家族の来訪時には、ご本人の暮らしぶりや健康状態等についても報告をされている。		職員の入れ替わりについて、ご家族は、「利用者への影響が不安」というような心情を持っていることもあるのではないだろうか。新しい職員の紹介や利用者へのダメージを抑える支援、離職や異動をなくす取り組み等についてもご家族へ伝え、ご家族の不安の解消に努めていかれてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を玄関に設置している。 普段から何でも話していただける雰囲気づくりを心掛けており意見や要望はスタッフ間で話し合い対応している。		
			(外部評価) 家族会を、敬老会やクリスマス会等、行事の後に開催されている。現在は、ほとんど意見は出ないようである。		さらに、ご家族に事業所の取り組みを具体的に知っていただき、ご意見や要望を出していただけるよう、働きかけをすすめていかれてほしい。家族会開催の工夫や雰囲気作り、ご意見をいただいた際、その後の取り組み等を知らせていかれることも期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者はスタッフ会で要望や提案を聞く機会は設けているが法人の一事業所であり運営者まで十分に意見が届かないこともある。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者がゆったりとした生活ができるようスタッフの勤務体制をとっているが、異動や離職により十分な人員が確保出来ていない時がある。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みのスタッフが新しいスタッフを利用者に紹介し、利用者にホームのことを説明してもらう等、声掛けや対応は工夫しているが異動や離職はあり、少なからず何らかの影響はみられている。		運営者になるべく異動をなくすようお願いしていく。
			(外部評価) 職員の異動や離職があった場合、利用者へのダメージを抑えられるよう、職員は、利用者への声掛けや対応に気を配っておられる。又、両ユニット同士で職員が助け合ったり、月1回、両ユニット合同の行事を行い、利用者、職員が交流できるよう取り組まれている。		事業所では、職員が異動することで利用者に及ぼす影響について、法人を含めて話し合いを行いたいと考えておられた。又、ご家族の不安等へも配慮した、積極的な取り組みが期待される。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 市の主催の研修や法人内の付帯施設の勉強会、グループホーム連絡協議会の研修など、勉強の機会が月に2～3回はある。スタッフが順番に参加している。また希望する研修は申請により法人から費用を負担してもらっている。法人は研修参加を推進している。		全スタッフが交代で参加できるよう予定を組んでいく。また各種研修案内を回覧し希望者には参加できるよう協力していく。
			(外部評価) 職員は、市や県GH協議会等が開催する外部研修や法人内の研修を受講され、受講後、内容をスタッフ会で報告するようになっていく。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム連絡協議会の相互研修に参加した。研修や勉強会を通して意見交換している。		
			(外部評価)		
			市主催のグループホーム連絡会で同業者と情報交換されたり、法人内のグループホーム同士でも交流がある。また、運営推進会議は、地域の他のグループホームと相互に出席し合っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			忘年会や親睦会といった法人行事は設けられているが、日々の勤務では休憩をとることができずストレスが溜まることもある。人員や物的環境が十分に整っていない。		スタッフ人数を十分に確保し利用者から離れ休憩をとれる環境を作っていきたい。スタッフ人数の確保を法人にお願いしていく。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			年に2回各スタッフが目標を立て達成に向け取り組んでいる。登用規定があり、資格取得や勤務態度により雇用形態が変わることもある。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			サービス利用の相談があれば、できるだけホームを見てもらいスタッフそれぞれがコミュニケーションをとるよう努めている。 利用までは管理者が関わることが多い。		法人内の病院や施設からの入所が多く入所前には必ずゆっくり話を聞く機会を設けていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 主に管理者が行っている。スタッフ間でも事前にホームで何ができるかを話し合うこともある。スタッフはよりよい関係を築けるよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) グループホームを希望され入所されることが多く、ホーム内でできる必要と思われる支援をスタッフで話し合っている。また、グループホームでの対応が十分でなければ主治医や病院との連携をとり他のサービス利用も検討している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者や家族に事前に見学に来ていただき、雰囲気を感してもらったり環境を観察してもらったりしている。安心してサービスを利用できるよう心掛けている。 (外部評価) 利用前に、ご家族に見学していただいたり、職員が、ご本人を訪ね、ゆっくりお話をし事業所の様子を知っていただいている。		訪問者、家族の方には必ず声掛けをし、入所前も後もホーム内をよく知ってもらおうようにしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に何かを作ったり昔の話をしたり、助け合いながら生活できる場所作りや声掛けを行っている。スタッフ全員がよい関係作りに力を注いでいる。 (外部評価) 職員は、利用者から、お若い頃の暮らしぶりやしきたり、戦争の経験談等を教えていただいたり、漬け物や郷土料理の作り方等を教えていただくこともある。		継続する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所されたご家族には利用者の近況を説明し困っていることがあれば話し合い協力できる関係を築いている。面会に来られた際に皆と一緒にお茶を飲んだり歌を唄ったりすることもある。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事への参加案内をしたり作品や写真を見てもらったり普段の生活を伝えるよう心掛けている。面会時には自室を利用して家族でゆっくり過ごせるような雰囲気作りをする。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 昔の写真や友人などの話題で、その当時のことを懐かしんでもらったりしている。外出時に近くまでいけるよう計画を立てたりしている。しかし、全利用者のなじみの場所へ行く支援はできていない。		外出、お出掛けの機会を利用し利用者のふるさと訪問も考えていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気のある人あわない人をスタッフが把握し、楽しい時間が過ごせるよう努めている。日中はリビングで過ごすことを勧めておりレクリエーションを日常的に取り入れている。孤立しないようにスタッフが個別に話をしたり関わることもある。		あまり話されずコミュニケーションが少ない人への支援を十分に行っていく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 施設外で会った時には気さくに声かけを行っている。継続的な関わりを必要とする利用者や家族がおられない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々話す機会をもっている。表情や言葉の観察、家族からの情報などからも本人の思いを把握するよう努めている。		
			(外部評価) 職員は、センター方式の様式を用いて情報収集に努めておられ、日々、利用者が話すお若い頃のお話や趣味のこと、ご家族の話等をきっかけに思いや意向を探っておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族からどんな生活をしていたのか、思い出話等を聞き、生活歴、価値観を把握している。		より多くの情報を集めケアプランの見直しとともにスタッフで情報を共有していく。サービス利用までの記録を有効に利用する。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の観察を大切に生活リズムを把握して全体像をつかめるよう努めている。		新たな役割や力の発揮を考えて取り組みを行っていく。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) スタッフ会でアセスメントを含めた意見交換及び申し送りで気付いたこと、家族の意見等を含めたカンファレンスを行っている。利用者の意見がケアに反映されるよう努めている。		より具体的な家族の意見がケアにつながるとよい。カンファレンス前にしっかりと家族の意見を聞くよう取り入れ方を検討する。
			(外部評価) 入居時に、利用者ご本人が、どのように暮らしたいかという要望を出していただいている。又、利用者やご家族の意見を踏まえて、職員で話し合い、計画を作成されている。		管理者は、ご家族と話し合い、要望や意見を聞き取り、計画に反映していきたいと考えておられる。さらに、本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、いろいろなアイデアや意見を反映した計画の作成が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月評価し、状態の変化、問題点が出ればその都度話し合い計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画は、毎月のスタッフ会議で評価を行い、3ヶ月毎の見直しをされている。又、状態変化時等には、その都度話し合い、新しい計画を作成されている。		又、計画の評価等についてもご家族に伝え、具体的なご意見をいただいております。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別に日々の様子、本人の言葉等介護記録として残し、気づきや変化があった時には、業務日誌を利用し、共有するよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人、家族の状況に合わせ、通院、美容院の利用など必要な支援、対応を心掛けている。		スタッフ数に限界があり対応できないこともあるので法人に十分なスタッフ数を確保するよう要望していく。
			(外部評価)		
			ドライブや外出行事の際、利用者の自宅を見て帰ることもある。職員と共に毎週、図書館に本を借りに出かける方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 行事には、ボランティアの参加を取り入れたり、中学生との交流、消防による救命講習の受講など地域の資源は活用し普段から大変連携が取れている。		今後も継続していく。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他の介護保険のサービス事業者との連携はほとんど取れていない。 必要があれば連携していく。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センター主催の研修には参加している。 制度の利用など必要に応じ相談を行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム内の利用者は一人の主治医に診てもらっており定期的な往診、変化があれば電話対応、往診、看護師の訪問と必要な医療を受けられている。 また、内科以外の他の病院へ受診している方もおり、通院介助や情報交換を行っている。 (外部評価) 主治医と連絡を取り合い連携を図っておられる。		主治医への日々の様子報告書で的確な報告ができるよう観察力を身につける。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医が母体病院で認知症専門医に相談することがあり協力してホーム内の利用者を診てもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 母体病院より月に2回看護師が訪問し健康状態へのアドバイス、対応をしてもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 母体病院に入院となることが多く医師や看護師、医療情報課との情報交換は行っている。 ホームでの情報は詳しく送るよう心がけスタッフが面会に行くこともある。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 体調、状態の変化があった時にはなるべく早く、主治医、家族と相談するよう心掛けている。スタッフでの共有が十分できていない。 (外部評価) 入居時、重度化や終末期の事業所の対応について、法人内の病院や施設等と連携を図り、対応していくことを説明されている。		業務日誌を活用し家族や主治医から聞いた重要な情報はスタッフ全員が共有する。 さらに、利用者一人ひとりの重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人やご家族の思いや希望・要望等も聞き取りながら、話し合うような機会も設けてはどうだろうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向をふまえ、医師・看護師と連携しながらホームでできることを支援している。緊急時の対応については勉強会で学んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 生活状況や支援内容について十分な情報交換を行いダメージを最小限におさえるようにしている。 入所の際には家族からの情報交換を十分に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 個々の性格を把握し声掛けや対応には十分注意している。記録や利用者情報など必要以上に漏れないように配慮している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者に合わせて声掛けしゆっくりと話を聞きながら利用者一人ひとりが自分で決められるような声掛けを行い、いろいろな選択肢を提供している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 基本的な流れはあるが一人ひとりの体調に配慮しながら買物や散歩等個別性のある支援を行っている。それぞれのやりたいことを中心に日々を過ごすよう支援している。</p>		<p>ケアプランをしっかりと立て満足できるサービスを提供する。 皆の輪の中へ溶け込めない人の支援について検討していく。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>調査訪問時、昼食後に、テレビを見て過ごす方や居室で横になる方、居室で水彩画を描いている方等がおられた。又、おやつを買いに近くの商店に出かけたり、散歩に行かれる方もうかがえた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 入浴時には本人に選んでもらった服を着ていただくようにしている。理美容は月に1度、近隣の理容室に来てもらい本人の希望に沿った髪型にってもらっている。 不十分なところや乱れはさりげなくスタッフが直すよう支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材切りや片付け、盛り付け等、スタッフと一緒にやっている。行事や誕生日には好みの食事を取り入れるようにしている。 (外部評価) 事業所で食事作りをされており、利用者は野菜の下ごしらえをされたり、調査訪問時には、食事の配膳や盛り付け、お茶の用意、又、食後は、テーブルやお膳を拭いておられる様子もうかがえた。食材には、季節の野菜や果物が採り入れられており、話題となっていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 各自好みのもの(オロナミン、ジュース、いりこ)を用意し、冷蔵庫に入れている。 おやつには食べたいものを手作りしたり選べるようにしたりしている。行事では好きな人にはお酒を出すこともある。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 記録を活かし一人ひとりの排泄パターンを知り、トイレ誘導、介助を行っている。トイレのわからない人には貼り紙をしたり床にテープを貼ったり工夫している。		尿意のない方でも尿意のサインを読み取り、より快適な排泄環境を整えていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 午後の時間を利用し3日に1回は入浴していただくよう努めている。柔軟な対応を心掛けているがスタッフ数には限りがあり十分に利用者の意向を取り入れていくのは難しい。		スタッフ数が増えれば希望を聞いて、より柔軟な対応をしていきたい。
			(外部評価) 週2回の入浴となっているが、中には、毎日に入浴されている方もいる。2階ユニットでは、夕方に入浴される方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中はなるべく離床をすすめ、夕方からはゆっくりした時間を過ごして頂けるような雰囲気作りをしている。一人ひとりの体調や表情を見ながらの対応を心掛けている。		生活リズムの整っていない利用者もあり、日中、適度な運動や作業を行うことにより適度な疲労感を持って頂くよう支援を工夫していく。
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 各利用者に米とぎ、お膳拭き、メニュー書き、新聞とり、ゴミ集め、日めくり、手すり拭き係等役割を持って実行して頂いている。またして頂いた事に対して感謝の声掛けを行っている。季節ごとのレクリエーションを取り入れたり、外出したり気分転換を図っている。		カンファレンスを利用してより楽しみ、役割の拡大に取り組む。
			(外部評価) 食事のメニューを書いてくださる方や、食事の際、「いただきます」と代表で挨拶をしてくださる方もいる。又、水彩画、写経、読書、ジクソーパズル、将棋等それぞれに楽しい時間を過ごせるよう支援されている。時には、ベランダで食事されたり、外食やドライブに出かけることもある。事業所の敬老会や行事時に、日本舞踊を披露される方もいる。毎週パン屋さんが来てくれるようになっており、好きなパンを選んで朝食やおやつに食べておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる利用者には財布を持っていただきスタッフとともに買物を楽しませている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日には散歩に出掛けたりドライブに出掛けることもある。日頃から庭に出たりベランダで花の観賞をしたりしている。		外で弁当を食べる機会を増やす。
			(外部評価)		
			お花見や紅葉狩り等、季節を感じに出かけておられる。		職員の勤務状態も整ったようで、今後は、日常的に散歩等にも出かけたいて考えておられた。さらに、地域資源を活用しながら、利用者の生活を拡げていかれてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			月に1回程度はドライブや温泉、花見と遠出を計画し、外出の機会を設けている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話はリビングに設置しており、いつでも利用できるようにしている。電話をかける支援やかかってくれば話せるように手助けしている。手紙を出すこともある。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に立ち寄れるような雰囲気作りを心がけ来客があれば自室でゆっくり過ごしていただくよう配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ会にて身体拘束に関する勉強会を行い、スタッフ全員が身体拘束のないケアに取り組んでいる。		スタッフの入れ替わりもあり定期的に確認していく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけないで過ごしている。帰宅願望のある方には常に所在を確認しながら、外へ出る場合はスタッフが見守るようにしている。 (外部評価) 玄関を出入りするとチャイムが鳴るようになっている。すべての職員が、鍵をかけることでの弊害を理解されており、利用者個々に目配り・気配りに心がけ、鍵をかけないケアを実践されている。		行方不明への検索マニュアルや地域の力を借りれるような体制を整えることを検討していく。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はリビングで共に過ごし一人ひとりの行動を把握し見守り、夜間は数時間毎に巡回で確認している。		数回、利用者が一人で外に出ていたことに気付かないことがあったので所在や様子の把握を徹底する。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況や物品に応じて、事務所で管理したり、見守りのもと使用したりしている。すべてを取り除くことなく臨機応変な対応ができています。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットを記録しスタッフの共有認識をはかっている。事故発生後は原因、対策を検討し再発防止に取り組んでいる。 各種研修などにも順番に参加できている。		全スタッフが対策を確認し再発防止に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 法人付帯施設の勉強会や消防による普通救命講習を受講している。		勉強会、研修への参加を継続していく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て定期的に避難訓練、経路の確認、消火器の使い方などの訓練を行っている。地域の防災訓練にも参加している。 (外部評価) 消防署の協力を得て、定期的に避難訓練を行っておられ、避難経路を数カ所に掲示されていた。地域の自主防災訓練にも利用者と共に参加し、習った救助方法を取り入れて事業所でも訓練が行われた。		防災マニュアルを整備する。 2階ユニットでは、現在、車いすを利用されている方が多く、職員は夜間の避難に不安な点もあるようだ。事業所では、今後も、地域の防災訓練等を通して、近隣の方々に協力いただけるよう、続けてお願いをしていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時に各利用者の身体状況を話し起こりえるリスクについても十分に理解していただくようにしている。日々、リスクを軽減できるよう勉強しホームの取り組みなども見て貰っている。		スタッフによって認識にやや違いがみられるためカンファレンスで確認する。
J					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、バイタルチェックを行い体調の変化があればスタッフ間で共有し対応する。急ぎの場合は電話で、緊急でない場合はファックスで状態を主治医に報告、対応してもらっている。		バイタル測定時間以外にも日頃より関わりを持ち表情や顔色、食事量などで異変に気付けるようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋のコピーをファイルに整理しつつでもスタッフが内容を把握できるようにしている。服薬時は本人がきちんと服用できているか確認している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) こまめな水分摂取、乳製品や繊維質のある食品の摂取、体操や散歩などの運動を行うよう心掛けて支援している。		より一層、体調管理に注意しスタッフ間の連絡を密に行う。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアをしており、必要に応じ誘導、見守り、介助を行っている。夜間は義歯を洗浄剤につけ清潔を保っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) メニューはバランスを考えてたて個々に応じ、キザミにしたり柔らかくしたりし提供している。食事量や残したものは記録に残すようにしている。 水分はペットボトルで各自、自由に飲んでもらうなどの工夫もしている。水分の摂れていない方にはゼリーや果物で補っている。 (外部評価) 職員は、野菜中心のうす味の食事作りを心がけて、メニューを考えておられる。食事の際には、食べていただけるように声掛けされたり、好みの味になるように食卓に調味料が用意されていた。水分確保には、食事の際のお茶のおかわりを声掛けされたり、居室でも水分補給が出来るように、ペットボトルにお茶を入れて用意されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 食前の手洗い、冬期のうがいを支援している。感染症の季節になると呼びかけを行ったり、マニュアルを参考に予防策をスタッフ間で共有し行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、ふきんは毎日漂白している。調理器具、食材、設備の点検表を作成し毎日チェックしている。食材は毎日新鮮なものを使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関にはスロープや手すりを設置している。明るい雰囲気になるようにプランターに季節の花を植えたり花を生けたり作品を飾ったりしている。手作りの看板もある。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節に応じた利用者の作品を飾ったり壁飾りにしたりしている。季節に合わせ花やテーブルクロスを変えたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、季節の花が飾られ、日めくりカレンダーや、昔懐かしい柱時計、神棚があった。又、習字やジグソーパズル、折り紙等、利用者の作品、行事時の写真や職員の似顔絵等も飾られていた。廊下にイスを配置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>所々にイスがありいつでもどこでも休めるようにしている。テレビ前のソファでは皆が集まってテレビを見ることもできる。気の合う方同士、話が出来るような雰囲気作りを心掛けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅よりソファやイス、飾り物などを持ってきていただいている。家族の写真やホームで作った作品を貼り居心地の良い部屋になるよう利用者とともに工夫している。		
			(外部評価)		
			ご本人の使い慣れたタンスや机、椅子、テレビ、将棋、大正琴等を持ち込まれており、ご家族の写真やご自分で作られた作品も飾られていた。滑り止めマットやポータブルトイレの設置等、利用者個々の状態に合わせてつらえを考えておられる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			朝には必ず換気を行い、冷暖房もこまめに調整している。共同スペースでは一人ひとりの様子をみながらそれぞれの衣服での調整にも気を配っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりが設置されており歩行訓練に利用したりしている。段差の前には注意書きを貼ったり、滑り止めをベット横の床に貼ったりスタッフでできる工夫もしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ、浴室がわかるように張り紙をしている。自室がわかりにくい利用者には似顔絵を貼ってわかりやすくしている。個々の状態を把握しどうすれば本人ができるのかスタッフで話し合い探っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			テラスや玄関前にイスを設置し日向ぼっこができるようにしている。中庭には畑を作り野菜の手入れや収穫を行っている。季節の花を植え、お弁当を食べることもある。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者とのコミュニケーションを大切に、会話や表情、行動から何を望んでいるかを感じ取り願いに近づけるようにしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつや食事の時間は一緒に座り、新聞記事・ニュース・世間話等している。すべての利用者と楽しくコミュニケーションがとれている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起きる時間、寝る時間は自分のペースである。日中、リビングでゆっくりテレビを見る方もいれば自室でゆっくりされる方もいる。お手伝いをされる方もいればレクリエーションに参加される方もいる。基本的な一日の流れはあるが強制ではなく自由に過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	トランプや将棋、ボール投げ等のレクリエーションで笑顔が見られたり手をたたいて喜ばれたり、役割をこなすことで目が輝いたり良い表情を見られることが多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個別に行きたいところの希望を聞き出掛けたり、全員で年に数回遠出したり、日常的には近隣のスーパー等へ出掛けている。スタッフの人数も確保しにくく十分に意向が反映されていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	主治医が定期的に往診されており、電話で24時間対応してくれている。母体の病院からも看護師の訪問、入院の受け入れと連携がとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	バイタルサイン、表情、様子から状態を把握し、体調に合わせて支援をしている。要望に応じ、買い物や散髪へ行ったり、希望の病院へ通院することもある。柔軟な支援ができています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には普段の様子を伝え、不安や要望など聞くようにしている。面会の少ないご家族とは、なかなか話す機会がなく連携がとりにくい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	いつでも来所していただけるよう明るい雰囲気作りを心掛けている。また、近所の方に会うと挨拶はしっかりしているが近隣の方が来られることは少ない。行事やボランティアで来られることがある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に婦人会の方、公民館長が参加され、情報・意見交換をしている。情報をいただき地域の行事に参加したり、婦人会より七草粥をいただいたり、ホーム行事にボランティアとして来て貰ったりした。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの個性を活かしつつ利用者にとってもスタッフにとっても楽しく生活できるよう試行錯誤しながら働いている。勤務外の行事や担当外の仕事も行い笑顔で利用者に接している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ただ生活するだけでなく、それぞれに役割、楽しみをもち生活できている。不平不満を聞くことがなく自ら手伝いをされたり感謝の言葉が聞かれる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	「ここで暮らすようになって明るくなった」「温かい感じがして楽しそうでいいですね」こうした言葉が家族よりよく聞かれる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

スタッフ全員が利用者への思いが強く、本人の思いに寄り添い、支援の方法・あり方を考えています。外出やレクリエーション、食事と利用者で過ごす時間を大切に、笑顔、穏やかな表情が見られるよう関わっています。笑顔の絶えないホームです。医療との連携もスムーズで安心して過ごすことができます。近くの中学校や近隣の方々との交流も多く地域に根ざしたホーム作りに力を入れて取り組んでいます。